

東海カード会員だより

2024年3月20日発行

各支部総会・校友会(同窓会・後援会・白鷗会各会員を含みます)日程(予定)

…詳細は各担当事務局・または学園校友・広報政策課へ…

1. 3月20日 (祝水) 同窓会長崎支部総会
18:00 場所未定
2. 3月23日 (土) 飛翔会(国際学科同窓会)総会
15:00 東海大学品川キャンパス

東海大学オフィシャルサイトより抜粋

「第53回海外研修航海出港式」を挙りました

東海大学では2月21日に、静岡市・清水マリビルで「第53回海外研修航海出港式」を挙りました。1968年から実施している海外研修航海は、本学の海洋調査研修船「望星丸」(国際総トン数=2174トン)で世界各地を巡り、文化理解・環境問題・協調性の大切さなどを実践的に学ぶ独自の教育プログラムです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、5年ぶりの海外航路での研修となる今年度は、清水港を出港後、父島(東京都小笠原村)、マジュロ(マーシャル諸島共和国)、ヤップ(ミクロネシア連邦)、宮古島(沖縄県宮古島市)に寄港し、各地のさまざまな文化に触れるフィールドワークなどを行うほか、洋上卒業式といった多彩な船内プログラムにも取り組みます。

今年度は91名の研修学生と、団役員、乗組員、海洋学部航海工学科航海学専攻の練習学生を合わせた総勢143名が参加。出港式では、松前義昭理事長・学長があいさつに立ち、自身が学生として、また団役員として参加した研修航海とその歴史を振り返り、「研修を終えると、全員が“この経験は他に代えがたい”と振り返ります。現代社会では、学生時代はもちろん、社会人になってからも船上で長い時間を過ごすような余裕は持てません。ぜひ、航海中には一見すると何も変わらない大海原の景色に小さな変化を見つけてください。美しい星空の下、広大な自然の中にポツンという自分を感じてみるのもよいでしょう。航海中は楽しく、元気に、安全に、自分自身のためになる時間を過ごしてください」とメッセージを送りました。来賓祝辞では、ジョン・フリッツ駐日ミクロネシア連邦特命全権大使(本学客員教授)と難波喬司静岡市長が登壇。フリッツ大使は、ミクロネシア憲法前文にある「海は私たちが結びつけるものであって、隔てるものではない。島々は私たちが養い、育てて強くする」という言葉を紹介するとともに、「今回の航海では、柔軟で国際的な視野を養うとともに、多くの人々と積極的に交流して友情を育んでください」とエールを送りました。

続いて研修団宣誓として、団長の八木英一郎教授(経営学部)、望星丸の上河内信義船長、学生長の吉田真依さん(海洋学部4年次生)が登壇。吉田さんは、「記念すべき出港式を迎えられたのは、準備にご尽力いただいた学園関係者のみなさまや送り出してくれた家族がいるからこそ。感謝の思いを胸に、楽しく学び、成長した姿で清水港に戻ってきます」と宣誓しました。最後に、松前理事長が八木団長に団旗を授与すると、見守った学生や教職員、保護者から大きな拍手が送られました。

式典後、研修団は清水港日の出埠頭で望星丸に乗船。あいにくの雨の中となりましたが、見送る関係者と色とりどりの紙テープを投げ合い、笑顔で手を振って33日間の航海へと旅立ちました。

(裏面へ続く)

サイエンスコミュニケーターが「ふしぎなサイエンスショー」を開催しました

スチューデントアチーブメントセンターのチャレンジプロジェクト「サイエンスコミュニケーター」が2月14日に、平塚市立八幡小学校で「ふしぎなサイエンスショー」を開催しました。今回のイベントは、同校の放課後児童クラブ「やわた子ども村」と平塚市立八幡公民館が子ども会行事の一環として主催したもので、子どもや保護者ら約100名が参加しました。

当日は初めに八幡公民館地区公民館長の原田茂氏があいさつ。続いてプロジェクトリーダーの清家一真さん（理学部3年次生）がプロジェクトの活動を紹介し、子どもたちが3つのグループに分かれて実験ショーやワークショップのブースに移動しました。「光の実験ショー」では赤外線や可視光、紫外線の違いを説明し、「赤と青の光を混ぜたら何色の光になるでしょうか?」「UVライトを当てて光る物はどれでしょうか?」といったクイズを出題。それぞれの光を重ねて色が変わる様子や、お茶やトニックウォーター、レモンアメ、栄養ドリンクにライトを当てて実験を披露しました。ワークショップでは各テーブルで学生がサポートしながら、偏光板とセロテープでスタンドグラスを工作したほか、水で薄めた洗濯のりとホウ砂、蓄光塗料を混ぜて光るスライムを作りました。参加した子どもたちは、「いろいろな実験が見られて面白かった」「教えてもらった工作を家でも挑戦してみたい」と笑顔を見せました。やわた子ども村で理事を務める米澤英子氏と中岡千鶴子氏は、「コロナ禍以降は子ども会の行事を開催できていなかったの、年齢問わず楽しめるイベントを開きたいと思っていました。学生の皆さんのおかげで、子どもたちが楽しんでいる様子が見られました」と話していました。

清家さんは、「体験を通して科学を楽しく学んでもらおうとプログラムを準備してきました。想定していたよりも多くの子どもたちに来ていただくことができ、さまざまな反応が見られてよかったです」と振り返りました。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365 システムによる生涯メールアドレスの利用
(tokai-u.jp のドメイン) 詳細は以下 URL をご覧ください。
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net/>

インターネットホームページについて

URL : <https://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

東海大学学園校友会 (校友会・白鷗会・同窓会) 事務局
学校法人東海大学理事長室 (学園校友・広報政策課)
〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-10-2 TEL 03-3467-2211 (代表)
E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学後援会事務局
東海大学学長室 (後援会担当)
〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)
E-Mail koyu@tokai.ac.jp